

機 器 一 覧

設置場所	名称	台数	規格	摘要
管理研修棟	ボイラー	2	鋳鉄製組合式蒸気、伝熱面積11.3㎡	第1種圧力容器
	空気調和機	1	法定冷凍能力1.295t	パッケージ型
	オイルタンク	1	地下式、内容量10.0kl（重油）	
	オイルタンク	1	地下式、内容量1.9kl（灯油）	
	オイルサービスタンク	1	内容量450ℓ	
	貯湯タンク	1	内容量2.624kl	第1種圧力容器
	密閉型膨張タンク	1	内容量0.259kl	第2種圧力容器
	ファンコイルユニット	87	最大風量8.0m ³ /min	リグIター型を含む
	給水ポンプ	1	最大水量0.125m ³ /min	
	給水ポンプ	1	最大水量0.250m ³ /min	
	循環ポンプ	1	最大水量0.250m ³ /min	
	オイルポンプ	1	最大油量0.028m ³ /min	
	真空給水ポンプ	1	最大水量0.200m ³ /min	
情報処理 教育棟	真空式温水発生器	1	加熱能力465kw、伝熱面積9.9㎡	
	空気調和機	2	法定冷凍能力3.63t	パッケージ型
	オイルタンク	1	地下式、内容量5.0kl（重油）	
	オイルサービスタンク	1	内容量100ℓ	
	開放型膨張タンク	1	最大水量0.125m ³ /min	
	ファンコイルユニット	32	最大風量8.0m ³ /min	リグIター型を含む
	循環ポンプ	1	最大水量0.430m ³ /min	
	ラインポンプ	2	最大水量0.150m ³ /min	
	ラインポンプ	1	最大水量0.250m ³ /min	
	ラインポンプ	1	最大水量0.400m ³ /min	
	循環ポンプ	5	最大水量0.040m ³ /min	
	オイルポンプ	1	最大油量0.008m ³ /min	
	全熱交換器	1	静止型9,785m ³ /h	

ボ イ ラ ー 運 転 日 誌

令和 年 月 日 曜日										天候	外気温	℃	総務部長	管理課長	課員	担当		
<div>作 業 従事者</div>																		
運転機器		運転時間（開始時刻～停止時刻）										室温管理（管理研修棟）						
管	ボイラーNO. 1	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分															
管	ボイラーNO. 2	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	測定場所										8 時	12時	16時		
管	真空ポンプ	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	総務部										℃	℃	℃		
情	真空式温水発生器	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	来所相談室										℃	℃	℃		
情	機械室給気扇	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	人材育成部										℃	℃	℃		
情	機械室排気扇	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	教育課題研究部										℃	℃	℃		
送気（送湯）場所		送気（送湯）時間（開始時刻～停止時刻）										大講義室（使用時）				℃	℃	℃
管	ストレージタンク	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	大講義室（未使用時）										℃	℃	℃		
管	1 階南側	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	燃料使用量														
管	各階南側	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	場 所	管理 研修棟	情報処理 教育棟	体育館											
管	1 階北側	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	油 種	A 重油					灯油								
管	各階北側	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	前日残量	L		L		L									
管	大講義室	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	本日残量	L		L		L									
管	食堂ヒーター	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	内 訳	使用量	L		L		L								
管	地下空調	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分		受入量	L		L		L								
管	手洗い	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	電力使用量														
情	1 階	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	場所	管理 研修棟	情報処理 教育棟												
情	2 階	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	種別			平日		休日									
特記事項等				本日計量	KWH		KWH		KWH									
				前日計量	KWH		KWH		KWH									
				使 用 量	KWH		KWH		KWH									
				屋外電灯設備														
				点灯時刻				消灯時刻										
				時 分				時 分										

日常点検業務記録簿

(実施日 令和 年 月 日)

棟名	機器名称	特記事項	点検 周期	点検内容	点検 方法	点検基準	判定
管理 研修 棟	ボイラー	4～10月 1基稼動 11～3月 2基稼動 但し、凍結防止 のための運転は 1基とする。	毎日	本体の損傷・変形、亀裂	目視	機能及び外観の著しい低下	
				本体からの異音、異臭	聴覚 嗅覚	機能及び外観の著しい低下	
				本体固定部の亀裂、腐食	目視	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体固定部のアンカボルトのゆるみ	触診	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体固定部のアンカボルト周囲のコンクリートの亀裂	目視	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
	オイルタンク オイルサービスタック		毎月	防油堤内への漏油	目視	機能及び外観の著しい低下	
				本体の傾き、損傷	目視	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体付近の可燃物、駐車	目視	機能及び外観の著しい低下	
				地表面の損傷、マンホール蓋の割れ、変形、ぐらつき	目視 聴覚	機能及び外観の著しい低下	
	貯湯タンク 密閉型膨張タンク		毎月	本体及び架台の損傷・変形・腐食・漏水	目視	機能及び外観の著しい低下	
				水位調節用電極棒・ボールタップの損傷・変形・腐食	目視	機能及び外観の著しい低下	
				オーバーフロー管からの漏水	目視	機能及び外観の著しい低下	
				オーバーフロー管の間接排水の確保、防虫網の損傷、腐食、劣化及び虫等の侵入の可能性	目視	機能及び外観の著しい低下	
				コンクリート基礎の亀裂、損傷、不同沈下	目視	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				タンク、架台のボルトのゆるみ	触診	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
	ファンコイルユニット (ラジエター型を含む)	実施月 4～5月及び 10～3月	毎月	フィルターの汚れ	目視	機能及び外観の著しい低下	
				本体からの振動・異音	目視 聴覚	機能及び外観の著しい低下	
				本体固定部の亀裂、腐食	目視	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体固定部のアンカボルトのゆるみ	目視 触診	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体固定部のアンカボルト周囲のコンクリートの亀裂	目視	安全性、耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
給水ポンプ 循環ポンプ 真空給水ポンプ オイルポンプ	ボイラーの稼動 状況に連動	毎週	本体の損傷・変形・亀裂	目視	機能及び外観の著しい低下		
			本体からの異音・異臭	聴覚 嗅覚	機能及び外観の著しい低下		
			本体固定部の亀裂・腐食	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食		
			本体固定部のアンカボルトのゆるみ	触診	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食		
			本体固定部のアンカボルト周囲のコンクリートの亀裂	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食		

特記事項等（判定が不良であったものについて具体的に記載すること。）

日常点検業務記録簿

棟名	機器名称	特記事項	点検 周期	点検内容	点検 方法	点検基準	判定
情報 処理 教育棟	真空式温水発生器	実施月 4～5月及び 10～3月	毎日	本体の損傷・変形・亀裂	目視	機能及び外観の著しい低下	
				本体からの異音・異臭	聴覚 嗅覚	機能及び外観の著しい低下	
				本体固定部の亀裂・腐食	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食	
				本体固定部のアンカボルトのゆるみ	触診	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食	
				本体固定部のアンカボルト周囲のコンクリートの亀裂	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食	
	オイルタンク オイルセパタンク	オイルセパタンク 実施月 4～5月及び 10～3月	毎月	防油堤内への漏油	目視	機能及び外観の著しい低下	
				本体の傾き、損傷	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体付近の可燃物、駐車	目視	機能及び外観の著しい低下	
				地表面の損傷、マンホール蓋の割れ、変形、ぐらつき	目視 聴覚	機能及び外観の著しい低下	
	ファンコイルユニット (ファンタイプを含む)	実施月 4～5月及び 10～3月	毎月	フィルターの汚れ	目視	機能及び外観の著しい低下	
				本体からの振動・異音	目視 聴覚	機能及び外観の著しい低下	
				本体固定部の亀裂・腐食	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体固定部のアンカボルトのゆるみ	目視 触診	安全性・耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
				本体固定部のアンカボルト周囲のコンクリートの亀裂	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食	
	循環ポンプ ラインポンプ オイルポンプ	実施月 4～5月及び 10～3月	毎週	本体の損傷・変形・亀裂	目視	機能及び外観の著しい低下	
				本体からの異音・異臭	聴覚 嗅覚	機能及び外観の著しい低下	
				本体固定部の亀裂・腐食	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食	
				本体固定部のアンカボルトのゆるみ	触診	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食	
				本体固定部のアンカボルト周囲のコンクリートの亀裂	目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷・変形・腐食	
	全熱交換器	実施月 4～5月及び 10～3月	毎週	フィルターの汚れ	目視	機能及び外観の著しい低下	
本体からの振動・異音				目視 聴覚	機能及び外観の著しい低下		
本体固定部の亀裂・腐食				目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食		
本体固定部のアンカボルトのゆるみ				目視 触診	安全性・耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食		
本体固定部のアンカボルト周囲のコンクリートの亀裂				目視	安全性・耐久性を損なう著しい損傷、変形、腐食		
特記事項等（判定が不良であったものについて具体的に記載すること。）							

ボイラー等設備保守業務完了報告書

令和 年 月 日

北海道立教育研究所長 様

住所

氏名

次のとおり保守業務が完了したので報告いたします。

記

1 実施日

自 令和 年 月 日

至 令和 年 月 日

2 実施設備

(1) 管理研修棟

ア ボイラー（ボイラー室No.1）	法定検査受検前点検	月例点検
イ ボイラー（ボイラー室No.2）	法定検査受検前点検	月例点検
ウ 貯湯槽（ボイラー室）	法定検査受検前点検	月例点検
エ 密閉型膨張タンク（ボイラー室）	月例点検	

(2) 情報処理教育棟

ア 真空式温水発生器	定期点検
イ 全熱交換器	定期点検
ウ 開放型膨張タンク	定期点検

3 実施項目

別紙のとおり

（注） 法定検査受検前点検実施時については、写真（作業前、作業中、作業後）を添付すること。

実施項目

機械名称		鑄 鉄 製 ボ イ ラ ー (No.1、No.2) (1枚目)						
区 分		内 容	No.1		No.2		備 考	
			適	否	適	否		
基礎・固定部		亀裂・沈下等の異常の有無					※1	
		ボルトの緩みの有無					※1	
		取付け状態の良否					※2	
外 観	本 体	腐食・損傷等の有無					※1※2	
		すす等の付着の有無					※2	
	保 温 材	脱落・損傷等の有無					※1※2	
内 部	本体内部 セクション 燃 焼 室	水漏れ、過熱、割れ、損傷等の有無					※1	
		焚口等を開放し、燃焼室側のすす等を除去。水圧試験の実施					※1	
		外部への年少ガス漏れの有無					※1	
		内部水側の酸化物等の付着及びさびの有無					※1	
		外部燃焼室側のすす等の付着物の有無					※1	
		耐火材の亀裂および脱落の有無					※1	
		燃焼異常、変形、腐食、ボルトの緩み及び蒸気又は水の漏れの有無（覗き窓、焚口等から確認）					※2	
		各管取付部、弁等の損傷、腐食、ボルトの緩み及び蒸気又は水の漏れの有無					※2	
	煙道・煙突	排ガス漏れ、過熱、変色、腐食及び割れの有無					※1※2	
		すす、灰及び水溜りの有無					※1	
	付 属 品	安 全 弁 逃 が し 弁	分解清掃の実施					※1
			弁及び弁座の損傷の有無					※1
			各部品の清掃、損傷及び劣化の有無					※1
組立後の吹き出しテストの実施							※1	
取付けボルトの緩みの有無							※2	
漏れの有無							※2	
テストレバーの作動の良否							※2	
排気・ドレン管		詰まり、腐食、損傷等の有無					※1※2	
逃 が し 管		詰まり、腐食、損傷等の有無					※1※2	
		保温材の脱落、損傷等の有無					※1※2	
水 面 計		分解清掃の実施					※1	
		弁・コックの目詰まり、漏れ、腐食、損傷等の有無					※1※2	
		弁・コックの開閉の良否					※1※2	
		ガラス管の汚れ、亀裂の有無					※1※2	
圧 力 計 水 高 計 温 度 計		大気圧下での指針ゼロ点指示					※1	
		汚れ及び損傷の有無					※1※2	
		導圧口、導圧管、サイホン管、コック等の目詰まりの有無					※1	
		温度計感温部の腐食及び損傷の有無					※1	
		正常値の指示の良否					※2	
		取付け部等の漏れの有無					※2	
措置等								

機械名称		鋳 鉄 製 ボ イ ラ ー (No.1、No.2) (2枚目)							
区 分		内 容		No.1		No.2		備 考	
				適	否	適	否		
バーナー		ノズルの損傷、変形、汚れ及び詰まりの有無						※1※2	
		点火栓の焼損、変形、汚れ並びに電極間の寸法及び位置の適否						※1※2	
		ディフューザーの焼損、変形及び汚れの有無						※1※2	
		燃料管の詰まり及び燃料漏れの有無						※1※2	
		前板の焼損、汚れ及び取付けボルトの緩みの有無						※1※2	
		タイルの焼損、変形及び汚れの有無						※1※2	
		空気ダンパーの汚れ、損傷の有無及び動作確認						※1※2	
自動制御装置	操 作 盤		盤内機器の取付状況及び汚れ、過熱、さび等の有無						※1※2
			押ボタン、切換及びスナップスイッチの動作確認						※1
			表示灯の点灯及び警報機の発鳴の動作確認						※1※2
			端子の変色、さび及び汚れの有無						※2
			ボイラー運転時の盤内部の温度の適否及び結露の有無						※2
	点火電極 絶縁端子		焼損、変形及び汚れの有無						※1※2
			放電の良否						※1※2
			配線の絶縁の良否及び接続部の緩みの有無						※1※2
	蒸気圧力制限器		導圧管の詰まり及びベローズの亀裂の有無						※1※2
			レバーの曲がり、配線の緩み及び短絡の有無						※1※2
	温水温度制限器		感温部のスケール等の付着及び損傷の有無						※1※2
			膨張液導管の折損及び液漏れの有無						※1※2
	水位検出器		フロート部を取出し、フロートチャンバー内部の清掃						※1
			フロートの亀裂及びベローズの破損、損傷の有無						※1
	火炎検出器		火炎検出器を取出し、検出部の汚れ、焼損、亀裂等の有無						※1※2
			検出部の装着及び接触の良否						※1※2
	燃料遮断弁		バーナー燃料停止時の油の滴下量の良否						※1※2
弁及び配管との接続部の漏れの有無							※1※2		
煤煙濃度計		投光器、受光器のフィルターガラス等の清掃及び損傷の有無						※1※2	
		光軸のずれの有無及び指示計のゼロ点調整						※1※2	
地震感知器		燃焼自動停止の確認（ボイラー運転時に実施）						※1※2	
措置等									

- 注 1 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。
また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。
- 2 備考欄中、「※ 1」は法定性能検査前に実施し、「※ 2」は毎月 1 回実施するものとする。
なお、「※ 1 ※ 2」となっている場合、「※ 1」の作業時期に「※ 2」を行うことは、可とする。

保守作業項目

機械名称		貯 湯 槽 （ボイラー室）		
区 分	内 容	ボイラー室		備考
		適	否	
基礎・固定部	基礎の亀裂・沈下等の異常の有無			※ 1 ※ 2
	架台の曲がり、さび、損傷等の有無			※ 1 ※ 2
	各種ボルト・金属金具等の緩み、損傷等の有無			※ 1 ※ 2
	配管支持部の変形の有無			※ 1 ※ 2
外観の状況	損傷、腐食等の有無			※ 2
	漏れの有無			※ 2
	締付ボルトの緩み、腐食、曲がり等の有無			※ 1 ※ 2
	保温材の脱落、損傷等の有無			※ 1 ※ 2
	本体より分離可能な場合、加熱管を引出し、内外面のスケール、スラッジ等の異物の付着及び割れ、変形、腐食等の有無			※ 1
内部の状況	付着物及び堆積物の有無			※ 1
	割れ、腐食、損傷等の有無			※ 1
圧 力 計 水 高 計 温 度 計	正常値の指示の良否			※ 2
	取付け部等の漏れの有無			※ 2
	汚れ及び損傷の有無			※ 2
	大気圧下での指針ゼロ点指示			※ 1
	損傷の有無			※ 1
	導圧口、導圧管、サイホン管、コック等の詰まりの有無			※ 1
	温度計感温部の腐食及び損傷の有無			※ 1
付 属 管 ・ 弁	逃がし管	漏れ、汚れ、損傷、腐食等の有無		※ 2
		保温材の脱落、損傷等の有無		※ 1 ※ 2
		詰まりの有無		※ 1
	その他の管	漏れ、損傷、腐食等の有無		※ 2
		変形、腐食、曲がり等の有無		※ 1
		結露の有無		※ 1
		伸縮継手の作動の良否、損傷等の有無		※ 1
	安 全 弁 逃がし弁	取付けボルトの緩みの有無		※ 2
		漏れの有無		※ 2
		テストレバーの作動の良否		※ 2
		分解清掃の実施		※ 1
		弁及び弁座の損傷の有無		※ 1
		各部品の清掃、損傷及び劣化の有無		※ 1
		組立後の吹き出しテストの実施		※ 1
	減 圧 弁	1・2 次側の圧力計の変動が規定値内であることの確認		※ 1
		損傷等の有無		※ 1
その他の弁	作動の良否及び損傷等の有無		※ 1 ※ 2	
温度調整弁	作動の良否		※ 1	
	損傷等及びスケール付着の有無		※ 1	
蒸気トラップ	分解清掃、損傷等の有無		※ 1	
防食装置	防食材の消耗の有無（流電陽極法）		※ 1	
	電極線の消耗、絶縁状態の有無（外部電源法）		※ 1	
溶 解 栓	劣化の有無		※ 1	
措置等				

- 注 1 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。
また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。
- 2 備考欄中、「※ 1」は法定性能検査前に実施し、「※ 2」は毎月 1 回実施するものとする。
なお、「※ 1 ※ 2」となっている場合、「※ 1」の作業時期に「※ 2」を行うことは、可とする。

保守作業項目

機械名称		密 閉 型 膨 張 タ ン ク （ボイラー室）			
区 分	内 容	ボイラー室		備考	
		適	否		
基礎・固定部	基礎の亀裂・沈下等の異常の有無				
	架台の曲がり、さび、損傷等の有無				
	各種ボルト・取付けボルト、金属金具等の緩み、損傷等の有無				
	配管支持部の変形の有無				
外観の状況	損傷、腐食等の有無				
	漏れの有無				
	締付ボルトの緩み、腐食、曲がり等の有無				
	保温材の脱落、損傷等の有無				
圧 力 計 水 高 計 温 度 計	正常値の指示の良否				
	取付け部等の漏れの有無				
	汚れ及び損傷の有無				
付 属 管 ・ 弁	逃がし管	漏れ、汚れ、腐食、損傷等の有無			
		保温材の脱落、損傷等の有無			
	その他の管	漏れ、損傷、腐食等の有無			
	安 全 弁 逃がし弁	取付けボルトの緩みの有無			
		漏れの有無			
		テストレバーの作動の良否			
	その他の弁	作動の良否及び損傷等の有無			
措 置 等					

注 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。
また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。

保守作業項目

機械名称		真 空 式 温 水 発 生 器			
区 分		内 容	適	否	備考
	基礎・固定部	亀裂・沈下等の異常の有無			
		ボルトの緩みの有無			
外 観	本 体	汚れ及び燃焼ガスの漏れ並びに焚口及び掃除口付近の焼損の有無			
	保 温 材	脱落・損傷等の有無			
内 部	燃 焼 室 伝 熱 面	清掃のうえ、過熱、腐食、水漏れ等の有無			
		真空度が規定範囲値内であることの確認			
		燃焼ガス漏れの有無			
		運転時の水位が規定範囲値内であることの確認			
	熱交換器	接続部の水漏れの有無			
		汚れ、詰まりの有無及び流量の適否			
		逃がし弁分解清掃のうえ、腐食、損傷等の有無			
	煙道・煙突	割れ、腐食等及び雨水の浸入の有無			
		排ガス漏れの有無			
		耐火レンガおよびキャストブルの破損、脱落及びすすの堆積の有無			
付 属 品	抽気装置	作動の良否			
		抽気ポンプのグランドバッキンの損傷の有無			
		弁の損傷及び詰まりの有無			
		配管接続部の緩み及び水漏れの有無			
		抽気ブローの作動の良否			
	制御安全装置	温度調整器の作動の良否			
		溶解栓及び温度ヒューズの異常の有無			
		抽気スイッチ及び安全スイッチの作動の良否			
燃 焼 装 置	バーナー	炎口部のすす、カーボン、未燃分等の汚れを清掃			
		点火及び消火の良否			
		炎の色及び形状並びに燃焼音等の燃焼状態の良否			
		ノズル、ディフューザーの損傷、変形、割れ等の有無			
		バーナータイルの損傷、変形、割れ等の有無			
	電 極 棒	異物の付着及び腐食の有無			
	ストレーナー	漏れの有無			
	電磁弁・油圧計	作動の良否			
	火炎検出器	火炎検出器を取出し、検出部の汚れ、焼損、亀裂等の有無			
		検出部の装着及び接触の良否			
	燃料遮断弁	バーナー燃料停止時の油の滴下量の良否			
		弁及び配管との接続部の漏れの有無			
	地震感知器	燃焼自動停止の確認（ボイラー運転時に実施）			
	操 作 盤	盤内機器の取付状況の良否並びに過熱及び異臭の有無			
		端子の変色、さび及び汚れの有無			
		運転時の盤内部の温度状況及び結露水の有無			
		表示灯の点灯及び警報機の発鳴の動作確認			
措 置 等					

注 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。
また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。

保守作業項目

機械名称		全 熱 交 換 器			
区 分		内 容	適	否	備考
基礎・固定部		亀裂・沈下等の異常の有無			
		固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無			
外 観	本体・点検口	さび、腐食、変形、破損等の有無			
	フィルター	詰まり、損傷等の有無			
	保温材	破損の有無			
熱交換エレメント		エレメントの詰まり、損傷等の有無			
		ケーシングの汚れ、さび、腐食等の有無			
措置等					

注 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。
また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。

保守作業項目

機械名称		開 放 型 膨 張 タ ン ク			
区 分		内 容	適	否	備考
基礎・固定部		基礎の亀裂・沈下等の異常の有無			
		架台の曲がり、さび、損傷等の有無			
		基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無			
		配管支持部の取付け状態の良否			
外観の状況		損傷、腐食等の有無			
		漏れの有無			
		保温材の脱落、損傷等の有無			
内部の状況		付着物及び堆積物の有無			
		内部の保護塗装の薄利等の有無			
管・弁	管	漏れ、損傷、腐食等の有無			
	弁	漏れ、損傷等の有無及び作動の良否			
はしご・点検庫		取付けの良否及びさび、腐食等の有無			
液面制御装置	ボールタップ	フロートの浸水、損傷等の有無及び作動の良否			
		給水停止状態での漏水の有無及び水位の適否			
	電極スイッチ	電極棒に異物付着の有無及び侵食の状態の良否			
		水位の上下による電源の入・切及びその位置の適否			
措置等					

注 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。
また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。

空調設備保守業務完了報告書

令和 年 月 日

北海道立教育研究所長 様

住所

氏名

次のとおり保守業務が完了したので報告いたします。

記

1 実施日

自 令和 年 月 日

至 令和 年 月 日

2 実施設備

(1) 管理研修棟

空調調和機(PL-P56AA)

定期点検

(2) 情報処理教育棟

空氣調和機No. 1 (PC-P160GA)

定期点検

空気調和機No. 2 (PC-P160GA)

定期点検

3 実施項目

別紙のとおり（添付資料 写真（作業前、作業中、作業後））

実施項目

機械名称		空 調 調 和 機 (PL-P56AA)			
区 分		内 容	適	否	備 考
基礎・固定部		亀裂・沈下等の異常の有無			
		固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無			
		防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無			
外 観		腐食、変形、破損等の有無			
冷房切換		暖冷房兼用の場合は、温水又は蒸気コイルの水抜きを行い、これらに係る止弁の開閉の良否並びに電気ヒーター及び加湿器の電源遮断、自動制御機器の切換及び作動の良否			
暖房切換		暖冷房兼用の場合は、温水又は蒸気コイル、加湿給水等の止弁の開閉の良否並びに電気ヒーター及び加湿器の電源投入、自動制御機器の切換及び作動の良否			
水 系 統	加湿用給水	弁の開閉の確認 漏れ及び汚れの有無			
	ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無			
	ドレン排水	本体のドレン排水状態の良否			
	操作・動力回路	絶縁抵抗値の良否			
電 気 系 統	端 子	緩み及び変色の有無			
	操 作 盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無			
	ワッシャー	通電、発熱状態の良否			
	Vベルト	緩み、亀裂、磨耗等の有無			
送 風 機	軸 受	異常音、異常振動等の有無			
	羽 根 車	汚れ、損傷等の有無			
	電 動 機	回転方向の良否			
	エアフィルター	ろ材の詰まり、損傷等の有無 枠の変形、腐食等の有無			
冷媒系統		ガス漏れの有無			
		配管の損傷等の有無			
熱交換機		フィンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無			
		補助ヒーターの汚れ、損傷等の有無			
加 湿 器		作動の良否			
		汚れ、損傷等の有無			
保 安 装 置	インターロック	室内送風機運転と電気ヒーターの連動性の良否			
	圧力開閉器	作動の良否			
	可溶栓・安全弁	ガス漏れ、変形等の有無			
	温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無			
	過熱防止器	作動の良否			
	圧 力 計	指示値の良否			
自動制御機器		設定値での温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御及び容量制御の作動の良否			
		設定値での温度及び湿度の制御の良否			
運 転 調 整	音・振動	異常音、異常振動等の有無			
	電源電圧	供給電源電圧の異常の有無			
		運転時の規定値内の電圧変動の良否			
	運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格以下であることの良否			
		送風機及び加湿器の電流の異常の有無			
		電気ヒーターの電流が定格以下であることの良否			
	冷凍機油	損傷、劣化及び油量の適否			
	熱交換状況	冷房、室外機及び室内機の吹出し空気温度の良否			
除霜装置		暖房運転時の場合は、検知作動及び四方弁動作の良否			
措置等					

注 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。
また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。

保守作業項目

機械名称		空 調 調 和 機 (PC-P160GA)					
区 分	内 容	No. 1		No. 2		備 考	
		適	否	適	否		
基礎・固定部	亀裂・沈下等の異常の有無						
	固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無						
	防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無						
外 観	腐食、変形、破損等の有無						
冷房切換	暖冷房兼用の場合は、温水又は蒸気コイルの水抜きを行い、これらに係る止弁の開閉の良否並びに電気ヒーター及び加湿器の電源遮断、自動制御機器の切換及び作動の良否						
暖房切換	暖冷房兼用の場合は、温水又は蒸気コイル、加湿給水等の止弁の開閉の良否並びに電気ヒーター及び加湿器の電源投入、自動制御機器の切換及び作動の良否						
水系統	加湿用給水	弁の開閉の確認					
		漏れ及び汚れの有無					
	ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無					
	ドレン排水	本体のドレン排水状態の良否					
電気系統	操作・動力回路	絶縁抵抗値の良否					
	端 子	緩み及び変色の有無					
	操 作 盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無					
	ワッシャーヒーター	通電、発熱状態の良否					
送風機	Vベルト	緩み、亀裂、磨耗等の有無					
	軸 受	異常音、異常振動等の有無					
	羽 根 車	汚れ、損傷等の有無					
	電 動 機	回転方向の良否					
エアフィルター		ろ材の詰まり、損傷等の有無					
		枠の変形、腐食等の有無					
冷媒系統		ガス漏れの有無					
		配管の損傷等の有無					
熱交換機		フィンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無					
		補助ヒーターの汚れ、損傷等の有無					
加 湿 器		作動の良否					
		汚れ、損傷等の有無					
保安装置	インターロック	室内送風機運転と電気ヒーターの連動性の良否					
	圧力開閉器	作動の良否					
	可溶栓・安全弁	ガス漏れ、変形等の有無					
	温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無					
	過熱防止器	作動の良否					
	圧 力 計	指示値の良否					
自動制御機器		設定値での温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御及び容量制御の作動の良否					
		設定値での温度及び湿度の制御の良否					
運転調整	音・振動	異常音、異常振動等の有無					
	電源電圧	供給電源電圧の異常の有無					
		運転時の規定値内の電圧変動の良否					
	運転電流	主電流及び圧縮機電流が定格以下であることの良否					
		送風機及び加湿器の電流の異常の有無					
		電気ヒーターの電流が定格以下であることの良否					
	冷凍機油	損傷、劣化及び湯量の適否					
	熱交換状況	冷房、室外機及び室内機の吹出し空気温度の良否					
措置等	除霜装置	暖房運転時の場合は、検知作動及び四方弁動作の良否					

注 当該機器の作業結果について、「適」又は「否」の欄に「○」を付すこと。

また、当該機器に該当しない項目がある場合は、「適」又は「否」の欄は空欄とすること。